



青柳園だより

2021年

5月号

文京区立青柳幼稚園

砂場遊びでたくさんの学び

園長 多比良 由恵

新緑の季節になりました。春休みに剪定したケヤキの木は小さな葉をつけ始め、日に日に大きく繁り木陰を作っています。また、こいのぼりが気持ちよさそうに泳ぎ、その様子を子どもたちやおうちの方と一緒に眺めることができることを嬉しく思います。

5歳児ゆり組のこいのぼりは、2～3人の友達と一緒に、土台となるビニールの色や、うろこの素材や形などを相談して、協力しながら数日かけて作り上げました。4歳児もも組の子どもたちは、自分のこいのぼりの色を選び、うろこを糊で貼って完成させると、さっそく外で思い切り走って泳がせることを楽しんでいます。3回目の緊急事態宣言下での端午の節句ですが、子どもたちの健やかな成長を心から願います。



〈5歳児ゆり組の
こいのぼり〉

初夏の日差しの中、幼稚園では、子どもたちが砂場遊びを思い切り楽しむ姿がたくさん見られます。一人でじっくり型抜きを楽しんだり、友達と一緒に大きな山や深い穴を作ったり、いろいろな遊びが展開しています。裸足になってひんやりとしたサラサラの砂の感触を感じたり、水を流してドロドロを楽しんだりもしています。ゆり組の子どもたちは、道を長くつなげたり、樋を組み合わせたしたりして、水が流れる水路作りを楽しんでいます。

幼稚園の砂場遊びの中で、子どもたちは、五感を通していろいろなことを感じながら、自分のめあてをもって挑戦したり、友達と声を掛け合って一緒に取り組む楽しさを感じたりしています。砂場遊びには、たくさんの学びが詰まっていて、私も大好きな遊びの一つです。裸足や水が心地よいこの季節に、たくさん遊んで、嬉しさ、楽しさ、不思議さ、試行錯誤、できた満足感や達成感などを、たくさん経験してほしいと思います。

感染症予防対策に引き続き取り組みながら、子どもたちの遊びと学びを育んでいきます。



4歳児もも組「きもちいいね」



5歳児ゆり組「大きい穴を掘ろうよ」